

施策評価シート（平成28年度実施分）

基本姿勢	1	安心で魅力ある「定住のしま」 ～分野1 安心して暮らし続けられるまちづくり～
政 策	5	人と自然にやさしい環境・景観づくり
基本方針	快適な生活環境を確保するために、地球温暖化対策の推進、資源循環型社会の推進など地球にやさしいまちづくりに取り組むとともに、再生可能エネルギーの利用に努めるなど、未来につながるエコアイランドとしてのまちづくりを目指します。また、特徴的な自然、歴史、文化に彩られた景観を大切に守り、町民と協働して地域の特性を活かした景観形成を推進します。	

基本施策	1-1-5-①	快適な生活環境と地球環境保全に向けた取り組みの推進	
主管課名	環境課	所属長名	小 田 良 彦
関係課名	観光商工課		
基本施策の評価			
<p>○風力、太陽光、バイオマスなど再生可能エネルギー活用事業の支援、地域特性に見合った再生可能エネルギーの研究・活用の推進</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・町独自の補助制度は無く、コスト面で負担が大きいという問題がある。社会情勢を見据えながら、関係各課と協力しながら推進を図る。 <p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「再生可能エネルギー等導入推進基金事業」（県補助金）を活用し、防災拠点となる役場本庁舎に太陽光発電設備の増設及び蓄電池を設置し再生可能エネルギーの導入を促進した。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・再生可能エネルギーの活用に向けた支援については、町独自の補助制度は無く、コスト面で負担が大きいという問題がある。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会情勢を見据えながら、関係各課と協力しながら推進を図っていく。 			
<p>○EV&ITS事業など低炭素社会の実現を目指し、エコアイランドとしての取り組みの推進</p> <p>■平成27年度における課題等に対する取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今後も企業・団体等の参加者拡大を目指して、県との連携を図りながら、広報活動を中心に効果的な呼びかけ方法について検討していく。 ・ITS・EV実配備促進協議会を中核に、EV車の維持及び急速充電器の維持管理に努めていく。 <p>■平成28年度の取組概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年に引き続き、エコドライブを中心に広報誌により住民へ周知し、12月にノーマイカー&エコドライブウィーク運動を実施した。 ・三菱自動車工業の協力により、レンタカー使用のEV車 本体電池交換を実施するとともに、急速充電器等機器の整備補修、維持管理及び運用を行った。 <p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ等の取り組みについては、広報等を中心に周知を行っているが急速には進んでいないため、取り組みをさらに拡大するためには、町内事業所等との連携が必要である。 ・EV&ITS事業は開始から8年目を迎え、EV車車体外装等劣化及び急速充電機器の部品等劣化が生じている。また、EV車の進歩により、急速充電器の型が古くなっており、新車両に対応できない状況が生じている。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・エコドライブ等の取り組みについては、今後も広報活動を中心に推進していくとともに、民間事業所等との連携を検討していく。 ・EV車を含め、新上五島町環境・エコ等の方針や新エネルギー転換など施策をあわせた取り組みが必要であるため、急速充電器の課金型導入などインフラを計画的な整備や、民間型に移行できるような方向性を示す計画を確立する。 			

○ごみ分別の一層の徹底や簡易包装の促進など環境負荷の軽減と効率性に配慮した、ごみ減量化とリサイクルの促進

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・ 広報紙やまちづくり出前講座等を活用しながら地域への啓発を強化し、ごみ減量化・リサイクルを促進する。

■平成28年度を取組概要

・ 昨年に引き続き、広報紙等を活用してマイバック、生ごみ処理機の推進を図るとともに、ごみ収集業者と連携し、違反ごみ出し等に対する指導を行った。

■評価（問題点とその要因）

・ ごみの分別、違反ごみ出しについては、年々減少してきたものの皆無ではないため、今後も地域と協力しながら推進していく必要がある。

■今後の取組方針

・ 引き続き、広報紙やまちづくり出前講座等を活用しながら地域への啓発を強化し、ごみ減量化・リサイクルを促進する。

○生ごみ処理機購入の助成、ごみ減量化に取り組む団体等の育成・支援

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・ 28年度より、生ごみ処理機は電気式のみを助成していく。また、今後ごみ減量化のための講習会等を実施していく。

■平成28年度を取組概要

・ ごみ減量化処理機（電気式）を購入した3件に対し補助金を交付し、ごみの減量化を推進した。また、ダンボールコンポスト講習会及び指導者の育成を実施した。

■評価（問題点とその要因）

・ ごみ減量化処理機が高額であり、補助金申請件数は少ないものの、ごみ減量を推進するためには、生ごみの減量が不可欠である。

■今後の取組方針

・ ごみ減量化の必要性や方法を講習会等を通して周知し、引き続き購入費の助成を行うとともに、助成額の妥当性及び町民に対して再資源化の必要性について周知を強化し（広報紙、ホームページ等）生ごみのコンポスト化についての理解を深めてもらい、排出量の抑制を図っていく。

○合併処理浄化槽の設置助成、汚水処理施設整備構想に基づいた処理体制の整備

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・ 合併処理浄化槽の普及促進のために、補助金の上乗せ等を実施し、設置者の負担軽減を検討する必要がある。

■平成28年度を取組概要

・ 町ホームページ・町広報紙にて合併処理浄化槽の普及啓発を行い、設置申請者19件に対して補助金を交付し、生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止を図った。

■評価（問題点とその要因）

・ 設置基数が例年20基前後となっており、合併処理浄化槽設置者の経費負担軽減を検討する必要がある。

■今後の取組方針

・ 平成29年度より平成35年3月までの期間限定(予定)で、一律10万円の上乗せ補助を実施する。

○水質汚濁、大気汚染、悪臭等を防止するなど、関係機関と連携して町民の生活環境の保全及び有害環境物質などに対する情報提供など公害の発生源対策

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・引き続き、関係機関と連携して迅速に対応しながら、問題解決に努めていく。

■平成28年度の取組概要

・昨年度に引き続き、広報紙等により、節電・マイバック・PM2.5の周知を行い、関係機関と連携して、生活環境の保全に努めた。

■評価（問題点とその要因）

・本町は、工場による大気汚染、悪臭などの大きなトラブルはないが、近隣住民による悪臭問題が多い。

■今後の取組方針

・今後も自然と環境に配慮したきれいなまちを目指して、啓発活動など継続して実施していく。

○火葬場の施設集約化の検討及び安定的な利用を図るための施設整備

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・平成28年度には上五島火葬場の1・2号炉の設備改修工事を予定しており、老朽化が進んでいる若松火葬場・奈良尾火葬場の廃止時期を検討するために火葬場再編計画を策定し、説明会等を開催し地域住民の理解を得る必要がある。

■平成28年度の取組概要

・平成27年度に実施した上五島火葬場改修工事に引き続き、既存の1・2号炉の設備改修工事を行った。

■評価（問題点とその要因）

・老朽化が進んでいる若松・奈良尾火葬場の廃止時期について検討し、火葬場再編計画を策定する必要がある。

■今後の取組方針

・平成29年度に新上五島町火葬場再編計画を策定するため、説明会等を開催し、地域住民への理解を求めていく。

2次評価

・先進地域の取り組みを参考にしながら、再生可能エネルギーの利用や省エネルギー型の公共交通機関の普及推進など、町地球温暖化対策地域推進計画の目標とする具体的な取組を確実に実施していくこと。

基本施策

1-1-5-②

環境・景観保全と啓発活動の推進

主管課名

環境課

所属長名

小田 良彦

関係課名

基本施策の評価

○環境教育や環境保全活動に関する広報・啓発活動の積極的推進及び環境保全各種団体の活動支援

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・今後も環境教室を実施し、将来の環境保全に繋げる。

■平成28年度の取組概要

・まちづくり出前講座を利用してリサイクルプラザ5件、汚泥再生処理センター2件、ごみ焼却施設1件の環境教室を実施した。

1 次評価

■評価（問題点とその要因）

・環境保全意識を高め、実践に結びつく普及啓発活動を展開していくため、その主たる活動である「環境月間」にあわせた啓発活動を行っていく必要がある。

■今後の取組方針

・今後も引き続き環境教室を実施するとともに、広報紙や公共施設等での掲示を通じて効果的な啓発を行っていく。

○環境美化運動、省資源・省エネルギー運動、アイドリングストップ運動、マイバック運動など町民や事業者の自主的な環境保全活動の促進

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・幅広い年齢層に応じた環境教育・学習のメニューの充実して意識醸成を向上していく必要がある。そのため、継続して周知を行い、詳細な情報を提供していく。

■平成28年度の取組概要

・昨年度に引き続き、ごみゼロ・空き缶回収キャンペーン等の実施による環境美化活動、エコドライブ&ノーマイカーデー等の推進による自主的な環境保全活動の促進を行った。

■評価（問題点とその要因）

・広報紙等により周知を行い、環境問題に対する町民の意識は高まりつつあるが、その意識醸成のための具体的な取組みが未だに浸透していない。

■今後の取組方針

・年齢層に応じた環境学習メニューを充実し、取り組みの浸透と拡大を図るため、引き続き周知を行い詳細な情報を提供していく。

○ごみの不法投棄パトロールの強化及び海岸等の漂着物の回収・処理

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・不法投棄パトロールを強化し、発生抑制の事業を行う。

■平成28年度の取組概要

・昨年度に引き続き、関係機関と連携して不法投棄パトロールを実施するとともに、漂流・漂着ゴミ撤去事業により、漂着物の回収、処理を行った。

■評価（問題点とその要因）

・毎年、回収・処理を行っているが、新たな不法投棄が発生するなど減少していない。不法投棄されやすい場所、再発しやすい場所の未然防止策が必要である。

■今後の取組方針

・不法投棄パトロールを強化し、地域と連携した発生抑制の事業を行う。

○景観形成推進のための住民意識の醸成及び、景観法に基づく届出行為に対するの景観形成基準に適合するよう審査・指導

■平成27年度における課題等に対する取組方針

・引き続き、環境省自然環境局福江自然保護官事務所と連携して指導等を行っていく。

■平成28年度の取組概要

・西海国立公園内における届出等の指導について、環境省自然環境局福江自然保護官事務所と連携して行っている。

	<p>■評価（問題点とその要因）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西海国立公園区域が広域であり、伐採等でも注意が必要である。 <p>■今後の取組方針</p> <ul style="list-style-type: none"> ・環境省自然環境局福江自然保護官事務所と指導を行う。
2次評価	<ul style="list-style-type: none"> ・地球温暖化防止活動推進員制度の充実、学校以外で実施される子どもの環境保全活動や地域単位や活動団体等で開催する環境学習会や体験型学習の充実など、環境意識の普及・啓発を積極的に行っていくこと。

成果指標等の達成状況

指標名		基準値	H27	H28	H29	H30	H31
ごみの排出抑制量	目標	-	-	-	0.87 kg/人・日	0.83 kg/人・日	0.78 kg/人・日
	実績	0.82 kg/人・日	0.85 kg/人・日	0.92 kg/人・日	-	-	-
	達成率	-	0% (0%)	0% (0%)	-	-	-
水洗化率	目標	-	-	-	30.9%	33.4%	36.9%
	実績	21.9%	27.0%	28.4%	-	-	-
	達成率	-	34.0% (100%)	43.3% (100%)	-	-	-

施策事業の進捗状況

1-1-5-① 快適な生活環境と地球環境保全に向けた取り組みの推進

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
1	(事業名) 合併処理浄化槽設置補助事業 【環境課】 (事業目的) 合併処理浄化槽の設置を推進し、生活雑排水等による河川や公共用水域の水質汚濁を防止し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。 (事業概要) 合併処理浄化槽設置者に対し、予算の範囲内において規模に応じた補助金を交付。 5人槽： 332,000円 6人槽及び7人槽： 414,000円 8人槽～10人槽： 548,000円 11人槽～50人槽： 939,000円	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	計画汚水処理人口(単年度)	
		目標値	102人	102人
		実績値	89人	104人
		達成率	87.3%	102.0%
		決算(見込)額	7,787千円	9,788千円
		成果指標及び目標値の説明	成果指標は、浄化槽設置による計画汚水処理人口とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	5人槽：9基 6～7人槽：8基 8～10人槽：1基 11～50人槽：1基 計19基の浄化槽設置があった。	(取組実績)	5人槽：6基 6～7人槽：9基 8～10人槽：4基 11～50人槽：2基 計21基の浄化槽設置があった。
	(成果・課題等)	設置基数が例年20基前後と伸び悩んでおり、合併処理浄化槽普及促進のために、補助金の上乗せ等を実施し、設置者の経費負担軽減を検討する必要がある。	(成果・課題等)	設置基数が例年20基前後と伸び悩んでおり、合併処理浄化槽普及促進のために、平成29年度より補助金の上乗せを実施し、設置者の経費負担軽減を図ることとした。
2	(事業名) 上五島火葬場改修事業 【環境課】 (事業目的) 老朽化が特に進行している若松・奈良尾火葬場について、将来的に廃止の方向性であり、安定した火葬業務を行うために、上五島火葬場の改修工事を実施する。平成28年度に、1・2号炉の設備改修工事を実施した。 (事業概要) 火葬場の再編に向けた、上五島火葬場に既存の1・2号炉の設備改修工事を実施した。	実施年度	平成25年度～	
		成果指標	事業進捗率(事業費ベース)	
		目標値	85.7%	100%
		実績値	85.7%	100%
		達成率	100%	100%
		決算(見込)額	289,789千円	49,712千円
		成果指標及び目標値の説明	当該年度の予算を含めた事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	上五島火葬場改修工事により、火葬炉を3炉とするため、待合室を増築し3室に改築した。また、火葬業務がスムーズに行えるよう収骨室を2室設置した。	(取組実績)	建設より20年経過した、上五島火葬場に既存の1・2号炉の設備改修工事を実施した。
	(成果・課題等)	老朽化が進んでいる若松・奈良尾火葬場の廃止時期について検討し、火葬場再編計画を策定する必要がある。	(成果・課題等)	火葬業務の安定化がさらに図られた。老朽化が進んでいる若松・奈良尾火葬場の廃止時期について検討し、平成29年度に火葬場再編計画を策定予定。

1-1-5-① 快適な生活環境と地球環境保全に向けた取り組みの推進（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
3	<p>(事業名) ごみステーション整備事業</p> <p>【環境課】</p> <p>(事業目的) 経年使用及び災害等による破損や、使用に不都合を生じるようになったごみステーションの補修及び取替を行う。また、新規設置の要望があり、適正と判断される箇所への設置を行う。</p> <p>(事業概要) 予算の範囲内において、要望のあった補修、交換、設置等の対応。</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	ごみステーション利用可能日数	
		目標値	257日	259日
		実績値	257日	259日
		達成率	100%	100%
		決算（見込）額	2,683千円	2,987千円
		成果指標及び目標値の説明	適正な維持管理行っていくため、ごみステーションの年間利用日数を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	<p>新設2基 交換10基 撤去3基 補修19基</p>	<p>新設1基 交換6基 撤去0基 補修21基</p>	
	(成果・課題等)	<p>ゴミステーションの老朽化が進行しているため、継続的に補修及び更新を進めていく必要がある。</p>	<p>ゴミステーションの老朽化が進行しているため、継続的に補修及び更新を進めていく必要がある。</p>	
4	<p>(事業名) ごみ焼却施設性能継続補修事業</p> <p>【環境課】</p> <p>(事業目的) ごみ焼却施設の劣化した箇所を補修・更新することにより、運転中の突発的な装置故障を未然に防止する事ができ、火災や緊急停止等の非常事態を危惧することなく、安定的な運転が可能になる。</p> <p>(事業概要) 劣化により脱落の恐れがある1号炉・2号炉の耐火物及び不適物搬出装置（減速機の更新含む）の補修工事。さらに、排ガス処理過程にある白煙防止用空気加熱器と空気予熱機の補修及び交換を実施した。</p>	実施年度	平成17年度～	
		成果指標	施設可能利用可能日数	
		目標値	257日	259日
		実績値	257日	259日
		達成率	100%	100%
		決算（見込）額	125,280千円	122,040千円
		成果指標及び目標値の説明	適正な維持管理行っていくため、ごみ焼却施設の年間稼働日数を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績)	<p>主灰搬出装置補修 1式</p> <p>1・2号焼却炉耐火物補修 1式</p> <p>DSCパソコン、コントローラ更新 1式</p> <p>1・2号炉誘引送風機、インバータ更新 1式</p>	<p>1・2号焼却炉耐火物補修1.0式 白煙防止用空気加熱機補修1.0式 空気予熱機補修1.0式 不適物搬送コンベア1・2補修1.0式 減速電動機更新 1.0式</p>	
	(成果・課題等)	<p>適正な時期に補修工事を実施した事で、突発的な事故等で施設が緊急停止することなく、安定的な運転ができた。</p>	<p>適正な時期に補修工事を実施した事で、突発的な事故等で施設が緊急停止することなく、安定的な運転ができた。</p>	

1-1-5-① 快適な生活環境と地球環境保全に向けた取り組みの推進（つづき）

No.	事業名・担当課・事業目的・概要	区分	平成27年度	平成28年度
5	(事業名) リサイクルプラザストックヤード棟建設事業 【環境課】 (事業目的) 可燃物及び粗大可燃物の破碎残渣や使用済み小型家電の屋内保管場所の不足に伴い、ストックヤード新設により一般廃棄物の適切な処理を図る。 (事業概要) スtockヤード棟の新設。 A=97.09㎡	実施年度	平成28年度	
		成果指標	事業進捗率(%)	
		目標値	-	100%
		実績値	-	100%
		達成率	-	100%
		決算(見込)額	-	19,566千円
		成果指標及び目標値の説明	事業が完了することにより施設の安定稼働を図られるため、事業進捗率を目標値とした。	
取組実績、成果・課題等	(取組実績) (成果・課題等)	(取組実績) リサイクルプラザストックヤード棟(A=97.09㎡) 建設工事 1.0式 電気工事 1.0式 (成果・課題等) 保管場所の確保により、搬出業務の効率化や廃棄物の適正な保管・取扱ができるようになった。		